

【新規格付け】 阪神高速道路

第1回社債（日本高速道路保有・債務返済機構による重畳的債務引受条項付）
予備格付け： A A A

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付けを公表しました。

【格付け理由】

R&Iは阪神高速道路が道路建設資金を調達するために発行を予定している社債（一般担保付）をA A Aと予備格付けした。

阪神高速道路は道路関係四公団民営化によって、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構とともに発足した高速道路会社6社の中の1社であり、機構と結んだ協定に基づき、阪神高速道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を手掛けている。

同社が道路建設資金を調達するために発行する社債は、建設期間中は同社の負債だが、高速道路資産が機構に帰属すると、資産とともに機構が引き受けることになっており、その元利払いの確実性は最終的には機構の信用力（発行体格付け＝A A A）に帰着する。機構へ債務を引き渡すスキームが確実なうえ、道路建設に支障を来す事態が発生した場合に国がサポートする可能性も極めて高いと見ている。自社でリスクを負う関連事業等で会社自体の経営内容に問題が生じれば、円滑な道路建設の執行に支障を来す懸念は否定できないものの、そのリスクも極めて小さい。

関連事業としては駐車場事業、休憩所等事業、受託業務事業、その他事業を手がけている。2005年度の関連事業の営業損益は駐車場事業が牽引し、単独ベースで3700万円の黒字だった。もともと展開余地が限られており、事業規模が小さいうえ、駐車場事業が安定した収益を確保できそうなことから、関連事業が道路事業に影響を与える可能性は極めて小さい。

2005年度末の自己資本は212億円と絶対額は大きくないが、収益変動リスクを吸収するだけの余力は十分にある。

これらの点から、当該社債は引き渡し前であってもデフォルトはまず考えられず、格付けは機構の格付けと同じとした。

【格付け対象】

発行者：阪神高速道路

名 称	第1回社債 （日本高速道路保有・債務返済機構による重畳的債務引受条項付）
発行額	未定
発行日	未定
償還日	未定
予備格付け	A A A（新規）
債務引受の予定先	日本高速道路保有・債務返済機構
担 保	一般担保